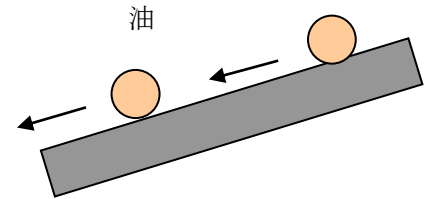


撥水撥油性 防汚コーティング剤

< KTTシリーズ >

加熱硬化型

コーシン防汚コーティング剤“KTT シリーズ”は撥水撥油性に優れたシリコン系の防汚コーティング剤です。油汚れなどが付着しにくく、付着しても容易に拭取れる防汚&易清掃性を付与できるコーティング剤です。



1. 『特徴』

- ①主剤と硬化剤からなる加熱硬化タイプの防汚コーティング剤です。
- ②熱硬化性プラスチックの他、ステンレスやアルミなどの金属製基材及び PET ラミネート鋼板等にも塗工ができます（基材により表面処理又はプライマー塗布が必要になる場合があります）。
- ③耐候性、耐薬品性、耐洗剤性に優れています。

2. 『機能』

- ①マジック及び指紋や手垢が付き難い。仮に付いても簡単に拭き取り等で除去できます。
- ②水垢が付き難い。仮に付いても簡単に拭き取り等で除去できます。
- ③油滴が付き難く、比較的簡単に滑落します。油汚れが付着しても簡単に拭き取り等で除去できます。
- ④粘着テープ等が付き難い。粘着テープ等を貼っても簡単に剥がすことができます。

* 未塗布の基材にマジックで円を書く

* コーティング剤を塗布した基材に円を書く

拭取り前（未塗布）



拭取り後（未塗布）



拭取ってもマジックは落ちない

拭取り前（塗布）



マジックが書けない

右半分拭取り（塗布）



右半分はきれいに落ちている

* コーティング剤を塗布した基材にカーンスプレーで塗装

拭取り前



右半分を粘着テープ貼付け後剥離させた



* 水垢を拭取る (コーティング塗布板)

水を滴下



乾燥



右半分拭取り



水垢はきれいに落ちている

* 水垢を拭取る (コーティング未塗布板)

右半分拭取り



水垢は取れにくい

* 指紋を拭取る (コーティング塗布板)

右半分拭取り



指紋はきれいに落ちている

3. 『コーティング剤の種類』

項目	KTT-03	KTT-01	KTT-01
タイプ	高温加熱タイプ	中温加熱タイプ	常温硬化の場合
加熱硬化温度	145～160℃×30分	120℃×30分	常温
外観	淡黄色透明	淡黄色透明	淡黄色透明
比重（20℃）	1.00～1.05	1.00～1.05	1.00～1.05
粘度（25℃、秒）		17～20	17～20
有効成分（%、主剤）	約30%	約30%	約30%
使用硬化剤	KTT-03専用硬化剤	KTT-01専用硬化剤	KTT-01専用硬化剤
硬化剤との配合比率	主100：硬1	主100：硬20	主100：硬20
使用希釈剤	KTT専用希釈剤	KTT専用希釈剤	KTT専用希釈剤
希釈剤使用の場合	0～100部	0～100部	0～100部
ポットライフ	8時間	1時間	1時間
		外部混合ガンのご使用をお勧めします	

4. 『塗膜の特性』

項目	KTT-03	KTT-01	KTT-01
タイプ	高温加熱硬化タイプ	中温加熱硬化タイプ	常温硬化の場合
水転落角（°）	27（52）	20（63）	29（42）
油転落角（°）	7（13）	9（16）	13（20）
基材の種類	SUS304	FRP	ABS
耐薬品性（5%HCl）	○	○	○
耐薬品性 （5%NaOH）	○	○	○
鉛筆硬度	H～2H	HB	B
密着性（基盤目剥離）	25/25	25/25	25/25
硬化温度	160°×30分	120℃×30分	常温×7日 指触乾燥は30～60分
塗布方法	スプレー	スプレー	スプレー、刷毛塗り

注）（ ）内は未塗布基材の場合。当社、社内試験数値。

5. 『用途例』

- * 各種基材への指紋・手垢付着防止&易清掃性付与。
- * 看板・自動販売機などの落書き防止。
- * コンクリートやモルタルなどの貼り紙防止、落書き防止。

6. 『適用基材』

- ① ステンレスやアルミ等の金属製基材（基材によっては表面処理又はプライマー塗布が必要）。
- ② FRP、人工大理石等の熱硬化性プラスチック類及びPETラミネート鋼板類。
- ③ PMMA（アクリル）、ABS、PCなどの熱可塑性プラスチック類。

7. 『使用方法』

- ①塗布対象基材（例えばアクリル板等）の表面の汚れを落とし、アルコール等で脱脂洗浄をしてください。
- ②主剤及び硬化剤をそれぞれ容器ごと振って内容物をよく攪拌混合後、主剤と硬化剤を所定の割合で混合してください。
- ③KTT-01 の主剤と硬化剤混合後のポットライフ（可使用時間）は約1時間程度（常温・中温タイプ）です。
必要量を混合するようにしてください。
KTT-03（高温タイプ）のポットライフ（可使用時間）は約8時間です。
- ④粘度の調整は、主剤と硬化剤混合後、適宜希釈剤を加えて実施してください。希釈剤は0%から100%の範囲でご使用ください。但し、垂れが発生しない程度での希釈をお願いします。厚塗りをして、垂れが発生するようでしたら、希釈剤の混入量を、垂れないレベルまで抑えてください。

主剤、硬化剤及び希釈剤の配合比率は下記を目安にしてください。

KTT-01 主剤：硬化剤：希釈剤 = 100：20：0～100
KTT-03 主剤：硬化剤：希釈剤 = 100：1：0～100

- ⑤塗布方法はスプレーによる塗布をお勧めします。刷毛塗りでも可能です。
- ⑥スプレー等での塗布後、約10～15分常温で放置し、その後各タイプの硬化温度で硬化させてください。
- ⑦基材によっては密着性が不十分な場合があります。事前の確認をお願いします。

8. 『取扱い上の注意』

- ①コーティング剤はいずれも引火性液体或いは可燃性液体で、**火気厳禁**です。
- ②溶剤蒸気を吸入しないようにしてください。換気に注意してください。
- ③保護マスク、保護めがね、保護手袋等の保護具を着用してください。

9. 『保管方法』

- ①直射日光を避け、密栓して冷暗所で保管してください。
- ②子供の手の届かない所に保管してください。

ここに記載されている事項は、当社社内での試験に基づく事柄や情報でありますので、実際の使用条件における結果を保証するものではありません。従いまして、お客様各位で充分ご検討のうえご利用くださいますようお願い申し上げます。

機能性コーティング剤に関するお問い合わせは下記までお願いします。

公進ケミカル株式会社 本社工場 0535-88-1400 天草工場 0969-63-0114 福岡支店 092-431-2063